

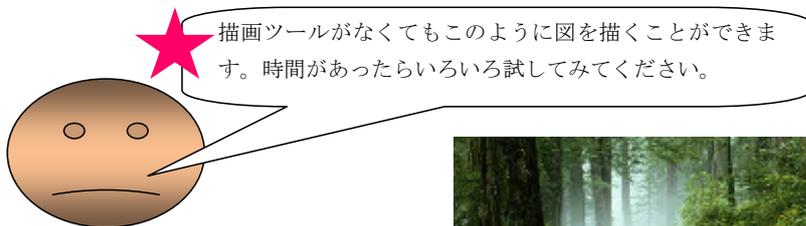
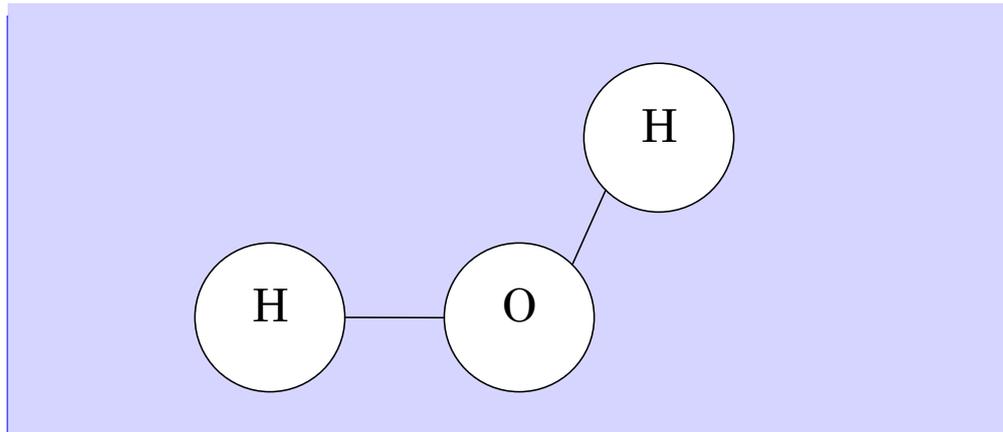
2013年〇月〇〇日

有機物質の特徴

有機物質は、原子同士の結びつきが重要なので単純に原子の数だけ書いても何がなんだか分からないことが多い。たとえば $C_6H_{12}O_6$ はブドウ糖の組成式でもあるが、実は果糖も同じ組成式である。でも分子の中での結合状態が違うため、ブドウ糖と果糖はかなり違う性質を示す。たとえば甘みなどは全く異なる。この問題を避けるために、たとえば酢酸 (CH_3COOH) は、 $C_2H_4O_2$ ではなく、原子の結合状態が分かるように CH_3COOH と書くわけだ。このような書き方を示性式と呼ぶ。

有機物	性質
ブドウ糖	グルコースともいい、無色の結晶で水に溶けやすく甘味を呈する。
果糖	フルクトースともいい、無色の結晶で果実やはちみつに含まれ、甘味が強い。

水 (H_2O) 分子の形



図を入れることもできます (サンプルピクチャを使用)。
「挿入」⇒「図」⇒「サンプルピクチャ」
写真を右クリック⇒「文字列の折り返し」⇒「四角」
(文章の中に写真を配置することができます)



ヘッダーに日付を入れる。
「挿入」⇒「ヘッダー」⇒「空白」
(文字を入力してヘッダーを閉じる)

コメント [S1]: フォントを 14 にして「中央揃え」にする。
「ホーム」⇒「段落」⇒「中央揃え」

学籍番号〇〇〇

名前〇〇〇

コメント [S2]: 「右揃え」にする。

コメント [S3]: 囲み線をつける
「ホーム」⇒「フォント」⇒「A」

コメント [S4]: 数字は下付きにする。
「ホーム」⇒「フォント」⇒「x₂」

コメント [S5]: 下線を引く
「ホーム」⇒「フォント」⇒「U」

コメント [H6]: 中央揃えと色をつける
「ホーム」⇒「段落」⇒「中央揃え」
⇒ (ペンキマーク)

コメント [S7]: 太字にする。
「ホーム」⇒「フォント」⇒「B」
さらに文字は「MS ゴシック」にする。
「ホーム」⇒「フォント」⇒「▼で MS ゴシック」を選択する。
 H_2O は「Century」にする。

コメント [S8]: 図の描き方
① 「挿入」⇒「図形」⇒「新しい描画キャンパス」
② 「図形」(使いたいものをクリックする)
※新しい描画キャンパスを使わずに直接 Word 画面に書き込むこともできる。
(文字の書き込み)
③ 図形の部分アクティブにして右クリック
⇒「テキストの追加」をクリック⇒文字を入れて中央揃えにする。